



合格面接への道



1週間後は公立推薦面接日、そして間もなく私立受験…そこで面接試験が行われる学校もあります。面接については、すでに進路学活でもとりあげ、練習を積んできた人も多いはず。もう一度、面接のポイントを最終確認してみましょう。

個人面接 …1人の受験生に対して、1人または数人の先生が面接するという形式

*『個人面接』は、比べられるということがないので、自分の意見を言いやすいという特徴があります。

*1人だからといってかたくなることはありません。気持ちを楽にして面接を受けるようになることが大切です。

*時間は5分～10分程度です

集団面接 …受験生3～8名が1つのグループになり、1人または数人の先生が面接

*1つの事柄について順番に質問されたり、途中で前の人への答えに対する感想や意見を聞かれたりします。

*個人面接と比べて、数人がいるので緊張感は少なくてすみますが、人の意見につられないで、自分自身の考えをきちんと言えることが大切です。

*時間は15分～20分程度です。

最終確認「面接試験の受け方」

*『待っている時から面接は始まっている』静かに落ちついて待つこと。

*受験番号を呼ばれたら『ハイ』と大きく返事をして立ち上がる。



*部屋に入る時はしっかりとノックをし、「失礼します」と言ってから部屋に入る。ドアは両手を使って静かに閉める。座席の横に進み、試験官にきちんと礼をする。

*着座をすすめられたら「よろしくお願ひします」といって着席－姿勢・視線を保つ。

*質問に対しては、堅くならず、ありのままの姿で、はっきりと受け答えすることが大切。

*『はい』『いいえ』『わかりません』をはっきり。『です』『ます』を使い、ていねいに答えること

*頭をかいたり、舌を出したり、視線をあちこちに向けたりしない。

*『うん』『はあ』『いや』などの返事は慎むこと。

*「以上で面接を終わります」と言わされたら、「ありがとうございました」と言ってから静かに立ち上がる。ドアの近くまで進んだら振り向き、「失礼しました」と言い、礼をする。再びドア側を向き、ドアを両手で静かに開ける。外に出て振り向き、ドアを両手で静かに閉める。

*退室後も緊張感を保ち、しっかりと態度をとり続ける。

*面接練習してくださった先生によって、多少の違いがあるかもしれません。身についた作法で構いません。

面接試験の要領は、学校によって異ります。受験票や会場の掲示物でよく確かめておいてください。面接が終わったあとも、他の人に迷惑にならないようにしましょう。